

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-4 都市・農山漁村空間の保全・整備
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	用地対策課長 大津 健次	電話番号	0852-22-5229
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	地籍調査事業		
目的	(1) 対象	県内に土地を有するもの、市町村をはじめとする行政機関	
	(2) 意図	明確化された土地に関する情報（地籍）を利用して、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資する。	
事業概要	地籍調査は、国土調査法（昭和26年法律第180号）及び国土調査促進特別措置法（昭和37年法律第143号）等に基づき実施されており、一筆ごとの土地について地籍簿と地籍図を作成する事業。 国が2分の1、県と市町村が4分の1を負担して市町村が実施。（県、市町村は特別交付税措置があり、実負担は各々20分の1） 現在の進捗状況は、国が51%、島根県が49%。（平成26年度末現在） 現在の第6次国土調査事業十箇年計画は計画期間が平成22年度～31年度で、計画面積は21,000km ² 。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	地籍調査実施面積	目標値	2,930	2,995	
	式・定義	実施面積/目標値	実績値	2,865	2,918	2,958	3,015	
			達成率	99.60	98.80	98.60		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
								式・定義
	式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	735,143	685,916
うち一般財源(千円)	245,048	228,639

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度末現在で調査実施面積3,015.42km²、進捗率48.92%である。
 毎年度1%の進捗を目指し、県予算においては市町の要望額を確保している。平成26年度は国庫予算の配分が前年度比で減額となった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

第6次国土調査事業十箇年計画以前、平成21年度末時点では国の進捗率49%、島根県の進捗率45%であったが、平成26年度末には国51%に対して、島根県49%となり、その差が縮まってきたこと。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

市町村の要望とおりの負担金が確保されないことと地籍調査事業の実施主体である市町村職員の人員配置が十分でないため、事業の進捗を阻害していること。
 市街地等における権利関係の複雑化や、中山間地域における山林の荒廃及び土地所有者の世代交代によって境界が不明確となっていること。

②困っている状況が発生している「原因」

人件費は負担金の対象外となっているため、市町村の財政負担が大きいため、市街地における土地の取引は商取引であることが多く、抵当権等複雑に権利設定がなされている。また、中山間地においては人口の流出が止まらないため、土地の管理が適切に行われていないこと、また、土地所有者が不明な土地が増加している。

③原因を解消するための「課題」

国に対して予算の確保を要望するとともに地方負担の軽減化やこれに係る制度改善の要望を行い、土地情報の精通者の高齢化が進まないうちに地籍調査の進捗を図る。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

地籍調査予算の確保について強く要望していくことは継続するが、国の予算額が大幅に増額される可能性が低いと思われることから、電子基準点のみを使用する測量方法を採用するなど効率的な予算の使い方を追求していく。また、山林部においては国の直轄事業である山村境界基本調査等も利用する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）